

【芸術・文化・スポーツ】

174．銅鐸記念館（炎の芸術館）の建設について

Q：加茂に銅鐸記念館が建つということを聞きました。財政難の折ですが、本当ですか。

A：合併前のオンリーワン事業で決まっていた。財源がなくなり規模を大幅に縮小、国の「まちづくり交付金事業」で行う計画です。今後さらなる見直し、検討が必要と考えています。（内田副市長）

175．文化財の保護について

Q：昨年3月退職して地元へ帰り、菅谷高殿など地域資源の素晴らしさを再認しました。同時に、地域の有志が集まって菅谷高殿へアクセスする道路沿いを流れる河川の清掃作業を始めたところです。地元もがんばりますので、市でも文化財の保護に尽力してください。

A：菅谷高殿へのアクセスが良くなり、入込客の増加につながることは素晴らしいことだと思います。菅谷高殿は日本の宝であるとも考えており、高殿の改修を早期に行えるよう協議を進めていきます。（市長）

176．松本古墳の再調査について

Q：貴重な文化財である、松本古墳の再調査を行ってください。

A：松本古墳群整備事業については、旧三刀屋町から要望が出ており、雲南市に引き継がれています。市の方では実施計画にのせ、順次整備していくという方針を決めているところです。（教育委員会）

三刀屋の保存会組織があり、そこからも整備事業実施の要望が出ています。どのように対応するか未定ですが、極めて重要な古墳群であると認識していることをお伝えしておきます。（内田副市長）

177．伝統行事の継承について

Q：当地域では、20年前から“みこし奉賛会”をつくって神社のお祭りの協賛行事として小学1年生から“みこし”や“はやしこ”に取り組んでいます。小学校が統合するとそういう機会がなくなると思いますが、何かお考えがありますか。

A：“みこし奉賛会”は活動20年ということで、しっかり地域に根付いています。はやしこも見させていただき、伝統文化が継承されていることを喜んでいます。雲南市は、子どもたちがふるさとを愛し生き活きと活動する“ふるさと教育”を大きな柱としています。これまで、各学校で行ってありました“ふるさと教育”を見直し、中学校区を核とした一貫教育計画の策定に向け検討を進めています。伝統文化の行事は、統合後も継続していただきたいと考えています。活動には、文化庁の事業もあるので、それらを活用しながら財政的支援策を相談させていただきたいと考えます。（市長）